

御代田町浅間クラブが「なんでも体験隊」で畑の先生をしています！

御代田町公民館主催の食農体験イベント「なんでも体験隊」で、浅間クラブのメンバーが畑の先生として農作業の指導をしています。参加者は町内の親子が中心で、今年2016年は去年の13組41名から大幅に増えて20組68名の参加となり、全8回のイベントはとても賑やかなものとなっています。

浅間クラブは御代田町内の若手農業者のあつまりです。『農業の楽しさを知ってほしい！』『地元・御代田産の野菜をたくさん食べて欲しい！』そんな思いから毎回会員が参加し、今年で3年目になりました。今後は町内外の様々な組織と連携を図って佐久地域の農業を盛り上げていきます！

1回目 5月7日 「じゃがいも植え体験と畑の準備」

じゃがいもの種いもを植えていきました。クラブ員は「じゃがいもに土のお布団をかけてあげてね」と一人一人に声をかけて優しく指導していました。終わると次回の苗定植に向けて畑の区画分けとトマトの支柱立てを行いました。



2回目 5月21日 「野菜苗の定植と田植え体験」

トマト・ピーマンなど、様々な種類の野菜苗を植えました。また、クラブ員からは御代田町の特産品であるレタスの苗がプレゼントされました。

苗を植え終わると田んぼに移動し、イネの手植えを行いました。裸足で田んぼに入った子供たちは「キモチワルイ〜！」などとおおはしゃぎ。転んで泥だらけになりながらも一生懸命田植えをしていました。



3回目 6月18日 「畑の管理」

クラブ員が参加者の畑を1つ1つまわり、管理の指導をしました。トマトの誘引が不十分だったり、トウモロコシの間引きが必要だった部分が改善されました。おかげでよりおいしい野菜が採れる予感がします。



4回目 8月6日 「じゃがいも掘り」

じゃがいもが収穫時期を迎えました。子供たちは「おいもどこかな？」と競うように掘っていました。この日は浅間クラブの会長を務める大井さんが「地元産のおいしい野菜を、好き嫌いせず食べて欲しい」という思いから、カラーピーマンをプレゼントしてくださいました。お母さん方はもちろん、子供たちもカラフルなピーマンに大喜びでした。



5回目 9月24日 「稲刈り体験」

手植えをした田んぼが収穫を迎えました。刃物を使う作業でしたが、御代田町公民館長やクラブ員に教えてもらいながら、よく注意して真剣な作業ができました。収穫したお米を乾かすための「はぜかけ」作業も参加者のお父さん方が中心となって行いました。



6回目 10月15日 「小麦の種まきと焼いも」

この日は御代田町の塩野地区で小麦の栽培を行い、地産地消や食育活動にも力を入れている『塩野中山間地営農事業組合』の方々と一緒に小麦の種まき体験を行いました。頑張った作業の後は、館長さんが育てたさつまいもをホクホクの焼いもにして食べました。

また、小麦の加工食品の奥深さをもっと知ってもらいたいと、御代田のパン作り名人である松田さんより、普段店頭では見かけることのない珍しい種類のパンのプレゼントがありました。塩野組合の方からは地元である塩野産の小麦粉と、うどんとパンのレシピがプレゼントされました。「こんなパンあるんだ！とってもおいしい！」「帰ったら早速作ってみよう！」と、たくさんお土産を頂いてとっても幸せそうな参加者でした。



7回目 11月12日 「畑の片付け」

収穫が終わったトマトやキュウリを抜いたり、マルチをはがしたりして夏の間お世話になった畑の片付けをしました。力持ちのクラブ員や、参加者のお父さん方を中心に作業が進み、あっという間にきれいになりました。



なんでも体験隊の活動は、12月のしめ縄作り・修了式を残すのみとなりました。参加した親子からは、「また来年も参加したい」「うちでも家庭菜園をやってみたい」などの声が聞かれ、農業に関心を持ってもらうことができました。収穫したものをどう料理して食べようか親子で話し合う姿もたくさん見られ、館長さんもクラブ員も野菜たちもみんな嬉しそうでした。参加者の中から未来の農業の担い手が生まれるかも…？